

教材教具名	ケーキ 一つずつ	教科 (算数)	情報提供者 ()
-------	----------	---------	-----------



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | ねらい | 一対一対応ができるようになる。 |
| 2 | 発達段階など | 物を握った手を動かし、お皿などに入れることができる。 |
| 3 | 使い方 | はじめにお皿を出し、お皿に一つずつ入れるところを見せる。
次に児童の前に2個～5個のケーキとお皿を提示し、一つのお皿に一つずつケーキを入れてもらう。 |

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

細かい操作が困難な児童が多いため、お皿を大きめにして一対一対応を行っている。
2個から始めて、現在3個までできるようになった児童が多い。同じ皿にたくさん入れようとしていたが、手を取って動きを覚えさせるなどして今はやり方を理解している。
行う場合は、児童の腕の可動域に気を付けながら、腕が動く範囲に皿を置いてやるようにしている。